



みやぎ — 75号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病
 発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
 〒989-2202
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-331
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

令和4年度 山元町及び亶理町並びに宮城病院 相互協力協定に基づく意見交換会開催される

事務部長 若佐 孝男

令和4年度山元町及び亶理町並びに宮城病院 相互協力協定に基づく意見交換会



橋元山元町長 永野病院長 山田亶理町長

去る7月7日(木) 13時30分から当院デイケア棟において、令和4年度山元町及び亶理町並びに宮城病院との相互協力協定に基づく意見交換会が開催されました。

はじめに、春の町長選挙で当選し新たに山元町長となった橋元伸一町長から開会の挨拶がありました。

意見交換会では、山元町から令和3年度連携事業及び令和4年度事業計画の説明の後、当院永野院長から現状報告を行いました。

1年に1回の意見交換の場であることから、前回開催時からのトピックス等の説明を行いました。①令和3年度から東北医科薬科大学「地域医療ネットワーク病院」の説明とともに、東北地域医療支援機構賛助会員(宮城A枠)における卒後医師の受入計画を説明、②令和3年2月及び本年3月に発生した福島県沖地震による被害状況と復旧状況、

③新型コロナウイルス対策として、本年3月に新型コロナウイルス感染症専用病床を開設、亶理郡地域外来・検査センター運営状況と山元町ワクチン接種支援状況、④山元町地域包括支援センター業務受託状況、同センターと連携した認知症における宮城県モデル事業(認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けた自治体と医療機関の連携協働による状況把握とサポート事業)の実施推進等について、事務局からではなく院長自ら説明を行いました。

本意見交換会は、例年当院大会議室で開催されてきました。昨年度は地震被害により大会議室での開催ができなかったが、本年度は大会議室解体撤去後の代替としてデイケア棟旧訓練室を会議室にリニューアルして開催されました。

当院は、病院運営の柱として、訪問看護・リハビリ、地域包括支援センター事業受託、救急医療等地域包括システムを中心とした医療等の提供を推し進めています。亶理郡唯一の病院として、両町との密接な連携は地域包括ケアシステムの実践には欠かせないものとなっています。

10月上旬には、相互協定事業の一つとされる「宮城病院クリーンキャンペーン」も控えています。地域医療構想への的確な対応のためにも本事業の継続とともに、両町との密接な連携を更に深めて行きたいと思えます。



基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

新しくなりました!



宮城病院公式マスコットキャラクター
「みやべりー」

宮城病院
Instagram



※読み取ってください

看護の日

5月12日はナイチンゲールの誕生日であり『看護の日』と制定されています。

宮城病院では毎年、看護の日にイベントを行っていて、今年は『看護師の仕事って何！？患者さんを取り巻く医療・介護の連携について』をテーマに、宮城病院で働いている看護師にフォーカスを当ててみました。看護師は色々な役割を担っていて、その仕事について皆さんに知ってもらえればと企画しました。

宮城病院では脳神経外科、脳神経内科、神経難病センター、内科、リハビリ、重症心身障がい児（者）病棟、手術室、外来などの他にも地域医療連携室、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、認定看護師など、多方面で活躍している看護師が居ます。

今回はそんな看護師達が働く部署の特色と思いを載せて、ポスターを掲示しました。患者さんや家族の方にポスターを見て頂き、いいね！！シールで「いいね！！」賞を決めました。

結果、病院長賞に輝いたのは中央病棟4階でした！



(副看護師長 高橋 いずみ)

山元支援学校花いっぱい運動

令和4年6月16日、今年も山元支援学校の生徒の皆さんが育てた花々が宮城病院の花壇を飾りました。大きなリヤカーに乗せられたプランターには既に綺麗な花が咲いており、すぐに花々が楽しめるように準備されていました。

宮城病院も夏草で生い茂っていた花壇を急いで整備し、雑然としていた正面玄関横の花壇は山元支援学校の生徒さんが丹精をこめて育てた花々で彩られました。

ここを通られる患者さん達にもきっと喜んでいただいていると思います。

山元支援学校の皆さん、綺麗なお花を有難うございました。

(管理課長 増田 和美)



生徒さんたちが育てた花々



花に水をあげる生徒さん



地域医療連携室から ～医療費助成制度～

こんにちは！地域医療連携室の川村と申します。
今回の連携室コーナーでは、指定難病の医療費助成制度についてご紹介します。

この制度では、国で指定されている難病の方で、ある認定基準を満たしている場合、医療費の自己負担額を軽減することができます。自己負担の上限額は所得に応じて定められており、1ヵ月ごとに医療費が上限額に達すると、それ以上の負担は発生しません。ご自身が制度の対象となるかどうかは、主治医へご相談ください。この制度を利用するためには、書類を準備して市区町村ごとに管轄されている保健所へ申請する必要があります。申請したその日から制度が適用されるため、対象の方は早めに手続きを行うと良いでしょう。

また、1年ごとに更新の申請が必要となるため、その都度書類を準備して保健所への申請を行う必要があります。何か分からないことがあれば、お気軽に地域医療連携室までご相談ください。

主な対象疾患はこちら

- ・パーキンソン病
- ・多系統萎縮症
- ・脊髄小脳変性症
- ・大脳皮質基底核変性症
- ・プリオン病
- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・進行性核上性麻痺
- ・筋ジストロフィー
- ・多発性硬化症
- ・パーचेット病
- etc...

(医療社会事業専門員 川村 健太)

認定看護師とは

新型コロナウイルスに振り回され、あっという間に2年が過ぎました。2019年に感染管理認定看護師となったあの頃、現在の状況はまったく予想もしておらず、新型コロナウイルスと共に私の認定看護師活動はスタートしました。

患者・職員を新型コロナウイルスから守るという大きな役割の一端を担い、日々多職種と連携し、多くの方に支えられながら認定看護師としての役割を遂行しています。

認定看護師には現行の認定看護分野21分野（新たな認定看護分野19分野）があり、当院には「感染管理」、「皮膚・排泄ケア」、「摂食・嚥下障害看護」の3名の認定看護師、及び特定行為研修修了者、認知症看護研修修了者がいます。それぞれが各分野でリーダーシップを発揮し、組織横断的に活動しています。

認定看護師にとってまず大切なことは職員からの認知、つまり職員の声が届いてくる環境です。その一助として、この度看護部長室より認定看護師、及び特定行為・認知症看護研修修了者に対し、専用の青色の名札を作っていただきました。青色の名札に期待された役割を肝に銘じ、当院の掲げる理念『良い医療を安全に、心を込めて』を胸に日々の活動を邁進していきたいと思っております。そして、青色の名札を付けた仲間をたくさん増やしていきたいです。

(感染管理認定副看護師長 鈴木 洋介)



令和4年 春の叙勲受賞



令和4年春の叙勲で、齋藤 博 元院長が瑞宝中級章を受賞されました。

同氏は、長きにわたり、国立医療機関の発展に一途に尽くした幾多の功績、併せて地域医療に貢献された功績が高く評価されたもので誠に喜ばしく心からお喜び申し上げます。

本来であれば、所管大臣より伝達されること、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、令和4年7月13日（水）に当院会議室で伝達式が執り行われました。



（庶務班長 小端 直）

福島県沖地震の復旧状況について

令和4年7月現在、昨年2月及び今年3月に発生した福島県沖地震の影響による全建物の内外復旧工事を進めております。現在の進捗状況は、主に今年度の地震により使用禁止となっていた外来管理棟一次増築部分（脳神経外科外来、救急外来等）の修復工事を行っております。増築エリアの内部壁面や天井を一度解体し、柱補強を行い修復します。今後もしばらくの間、外来管理棟や病棟の内部修復工事が続き、各科外来診察室なども場所を移動しながらの工事予定となります。今年12月の完成を目指します。

当院をご利用の皆さまには、工事期間中大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。今後も「広報みやぎ」を通じて、進捗状況について報告いたします。

（企画課長 大坂 雄二）



解体された大会議室の様子

外来管理棟増築部分内部の様子



永年勤続表彰

去る7月21日、今年度の永年勤続表彰伝達式が執り行われました。今年度は永年勤続30年以上が6名、20年以上が4名の表彰で、院長よりお一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。

健康に留意し、家族の支えがあつての永年勤続であり、今後の更なる活躍に期待を込めた院長先生からの式辞がありました。

受彰されました皆様、おめでとうございます。

(庶務班長 小端 直)



～30年以上永年勤続者～

山本 亮次郎 (経営企画室長)
掛水 智子 (看護師長)
遠藤 由枝 (看護師)
大井 淑美 (看護師)
乳井 久仁子 (看護師)
作間 はるみ (看護師)

～20年以上永年勤続者～

中山 崇 (作業療法士長)
佐々木 結花 (主任言語聴覚士)
大槻 真奈美 (看護師)
富澤 有子 (看護師)

部門紹介 ～中央病棟2階～

皆さん、こんにちは。すっかり夏らしい季節となり、暑い日が続いていますね。

さて、中央病棟2階は、重症心身障害児(者)病棟として、日々患者様の安全を守りながら、楽しく笑顔で生活できるような関わりを心がけております。元気いっぱいの看護師ばかりで、いつも患者様やスタッフの笑顔と笑い声で賑やかな明るい病棟です。

今年度も私を含め、6名の新しいメンバーが加わりましたのでご紹介させていただきます。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

(①氏名②職名③出身地④趣味・特技⑤ひとこと)

①大内 奈津美
(おうち なつみ)

(看護師長 大内 奈津美)

②看護師長
③山形県
④ドライブ
⑤いつも明るい病棟となるよう
スタッフと共に頑張ります。

①樋口 久未加
(ひぐち くみか)

②看護師
③青森県
④琴の演奏
⑤沢山経験を積み重ねて
成長したいです。

①鈴木 恵美
(すずき めぐみ)

②看護師
③巨理町
④ガーデニング、書道
⑤宮城病院の看護師として
成長できるよう頑張ります！

①菊地 望月
(きくち みづき)

②看護師
③角田市
④映画鑑賞
⑤一生懸命頑張ります！

①大場 千咲
(おおば ちさき)

②看護師
③栗原市
④読書
⑤患者さんから沢山学ばせて
頂きながら頑張ります。

①穴戸 慶子
(ししど けいこ)

②看護助手
③新潟県
④登山
⑤早くチームの一員になれる
ように頑張ります。



診療科		曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患		中屋 亮彦	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3)
	再来		永野 功	齋藤 早紀 (第1・3・5) 船山 由紀乃 (第2・4)	永野 功	中屋 亮彦	中屋 亮彦
			渡辺 靖章		松本 有史		金子 仁彦 (第2・4)
内科			清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
			志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			齊藤 秀行				東北大学病院から
循環器内科	午前				加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科				佐野 寛仁			齋藤 悠
消化器内科		午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前		八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後			(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
			東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科					館 一史	澤村 武 齋藤 香奈 (隔週交替 13:30~15:30)	
皮膚科						東北大学病院から	
脳神経外科			仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
				永松 謙一 (第2・4週)			
歯科			稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
			中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来		午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来		午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来		午後			若林病院から (第1・3週)	
	入れ歯外来				白石 成		重光 竜二

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、**急患の方は随時受付いたします。**
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

- 自動車でおいでの方●
 - 仙台方面から■
仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。
 - 相馬方面から■
国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。
- 交通機関をご利用の方●
 - 仙台方面から■
JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。
(詳しくはお問い合わせください)

